

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 7 月 13 日 (2006.7.13)

【公表番号】特表 2005-533138 (P2005-533138A)

【公表日】平成 17 年 11 月 4 日 (2005.11.4)

【年通号数】公開・登録公報 2005-043

【出願番号】特願 2004-513350 (P2004-513350)

【国際特許分類】

C 0 8 F 297/08 (2006.01)

C 0 8 F 4/645 (2006.01)

C 0 8 L 53/00 (2006.01)

D 0 1 F 6/30 (2006.01)

【F I】

C 0 8 F 297/08

C 0 8 F 4/645

C 0 8 L 53/00

D 0 1 F 6/30

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 5 月 23 日 (2006.5.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

A) 1 ~ 20 重量% のプロピレン以外のオレフィンを含有するプロピレンコポリマー 50 ~ 80 重量% および

B) 5 ~ 98 重量% のプロピレン以外のオレフィンを含有する少なくとも 1 つのプロピレンコポリマー 20 ~ 50 重量%

を含み、メタロセン化合物をベースにする触媒系を用いる 2 段階または多段階の重合により得ることができ、触媒系が両段階で使用され、プロピレンコポリマー A およびプロピレンコポリマー B が分離相として存在し、n - ヘキサン可溶材料の比率が 2 . 6 重量% 以下 (2 . 6) であるプロピレンコポリマー組成物。

【請求項 2】

30 % 以下 (30 %) の曇り価を有し、引張弾性率 (E) が 100 ~ 1500 MPa の範囲である請求項 1 に記載のプロピレンコポリマー組成物。

【請求項 3】

プロピレン以外のオレフィンが、もっぱらエチレンである請求項 1 または 2 に記載のプロピレンコポリマー組成物。

【請求項 4】

プロピレンコポリマー組成物の総重量に基づいて 0 . 1 ~ 1 重量% の核剤を含む請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 つ に記載のプロピレンコポリマー組成物。

【請求項 5】

D M T A (動的機械的熱分析) により決定されるプロピレンコポリマー B のガラス転移温度が、 - 20 ~ - 40 の範囲である請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 つ に記載のプロピレンコポリマー組成物。

【請求項 6】

モル質量分布 M_w / M_n が、 $1.5 \sim 3.5$ の範囲である請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 つに記載のプロピレンコポリマー組成物。

【請求項 7】

$50,000 \text{ g/mol} \sim 500,000 \text{ g/mol}$ の範囲の数平均モル質量 M_n を有する請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 つに記載のプロピレンコポリマー組成物。

【請求項 8】

少なくとも 2 つの連続する重合工程を含む多段階重合が実施され、かつメタロセン化合物をベースとする触媒系が使用される請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 つに記載のプロピレンコポリマー組成物の製造方法。

【請求項 9】

繊維、フィルムまたは成形品を製造するための請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 つに記載のプロピレンコポリマー組成物の使用。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 つに記載のプロピレンコポリマー組成物を、好ましくは実質的な成分として含む繊維、フィルムまたは成形品。